

# 新山協ニュース

▲ 発行者 井出 秀雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会  
〒940 長岡市学校町3-11-7 藤井 信方 TEL 0258-32-4835

## 登山は生涯スポーツ

峡彩山岳会

佐藤 栄

登山が国民体育大会の種目となり、各都道府県から初めて、それぞれ三名の選手団が出て初冬の富士山へ登ったのは、昭和二十四年の第四回東京大会であった。当時の国体登山は競技ではなくて、水雪技術の研修と、全国から集まった登山者の交流が主目的であり、敵しさの中にも皆が和やかで楽しく、吉田口の五合目から登山靴にアイゼンをつけた役員、選手全員が白雪の富士山頂に立った。

この大会に、本県登山会の大先達である故藤島玄さんと、九十歳を超えられても御健在の笠原藤七さんに従って、選手として参加できたことが、私にとっては懐かしく貴重な思い出となっている。それに長大な大沢の雪渓で、私ら新潟勢の横を、うつむいて黙々と登っていた横有恒さんの姿が、今も眼に浮かぶ。

その後は回を重ねるにつれて、優秀チームの表彰や採点制の競技種目へと変わってきたが、その是非はともかくとして、奈良時代の役ノ行者で知られる修験道の山岳信仰から、近代登山といわれて、先覚者が未踏の山を求めながら、初登頂や初縦走に情熱を燃やした明治・大正時代を経て、心身の鍛練や自然環境を愛し、探訪を楽しむとする現代の在り方へと移行するうちに、大勢の愛好家が山へ眼を向けるようになり、趣味としての登山が普及したもので、競技ではなく、青少年から高齢者まで年令を問わない大衆スポーツとして、誰でも容易に入り込める世界が、人々を惹きつけたのであろう。

殊に現在は女性を含めた中高年登山者が増えており、本県内の各地にも大勢の会員を擁する幾つかの団体が、精神的な活動を続けている。地理的には日本海に面して長い海岸線が延びている本県であるが、振り替えれば平面距離六二八kmに及ぶ県境線の殆どが、磐梯朝日、日光、上

信越高原、中部山岳と四つの国立公園に属する山岳地帯で、上、中、下越に亘って全国的にも知られた名山や雄峰が、数多く連なっていることもあって登山人口が多く、本県山岳協会に加盟している団体数は七十余りと、他県に較べて卓越している。

その協会規約第三条に「本会は登山を通じ、県民体育の向上と加盟団体相互の親睦融和を図る」とあり、登山の振興に関わる各種の事業を行っており、加盟している高体連登山部五十八校の、若く活発な動きも期待し注目されている。県内各地に広がる加盟団体の中には、有名な山岳に近く、あるいは「わが持ち山」といった誇りと親近感をもって、活動している会も少なくない。そうした団体との交流を通じて、視野を広め、互いにプラス指向を見出してゆくといった積極性も欲しいものである。

登山は活動の場が山岳であり、おおらかな自然の中へ分け入ることから始まる。そして必要な装備や食糧を背負い、地図を読みながらかなりハードな筋肉疲労で登高を続けるが、それだけに目的の山頂へ辿り着いたときの喜びは大きい。またそうした行動が体力を鍛えるだけでなく、街の生活から離れることで心が寛らぎ、視野に入る大自然の風物が、常に新鮮な感動を呼び起こしてもくれる。

さらに四季折々あるいは地域によって、下界では望めない彩り豊かな植生や鳥類、昆虫などを観察したり撮影できる楽しみがあり、山にまつわる歴史や伝説に関心を持ち、自然とともに生きてきた山村民俗にも眼を向ける。あるいは美しい景観を作り出す山々の成り立ちや、堆積岩、火成岩、変成岩と多種多様な岩石に触れて、遠い地質時代に想いを馳せる地学の勉強にも役立つといった、様々な利点が挙げられる。即ち登山はスポーツであるとともに、新たな未知との出逢いを求めて、人間の知性や探求心を養う文化活動とも言えよう。

また競技ではないからライバル意識は不要で、仲間たちが信頼し合ってパーティを作り、苦楽を共にできるといった連帯感と、そこに生まれる友情が、より山行の欲びを倍



加し、安全で充実した登山を  
持続させることにもなる筈で  
ある。と、このように羅列し  
てはみたが、多くの登山者は  
既に理念として受入れ、実践  
していることであらう。

新潟県の山を私は先人に憤っ  
て「越後の山」と呼び、もう  
半世紀ほど登り続けてきた  
が、つい昨日のこのように、  
臉に蘇る遠い日の思い出を惹  
しんでいる。

特に親しんで歩き廻った飯  
豊連峰や、初めての登山を体  
験した越後富士の妙高山、小  
松原湿原を抱いた苗場山や、  
平ヶ岳、巻機山のおおらかな  
頂稜。谷川岳や御神楽岳の岩  
場の厳しさ。そして大佐渡、  
小佐渡の優しい山々が、訪れ  
るたびに「やあ暫くだったね」  
と歓迎してくれる。

また、五回も出場した国体  
登山や、日本山岳会の全国集  
会などで、北海道から九州ま  
で、山岳会という組織に籍を  
置いたお陰で、思い出に残る  
数々の名山訪問もできた。

そんなことで思いついたの  
は、山で単独行の登山者とも  
よく行く逢うが、話を聞くと、  
どこの登山団体にも属さず、  
独りで歩き回る方が気楽でよ

いと言う人が多い。私も山へ  
登りはじめて三年間ほどは東  
京暮らしの所為もあって専ら  
独り歩きで、幾つかの山岳会  
の勧誘も受け入れず、身の程  
知らずに未知の沢や岩場にパ  
リエーションを求めて熱を上  
げたものだが、単独登山には  
限界があることを知り、先輩  
に教えを乞う気持ちで日本山  
岳会へ入った。

そこで大勢の山仲間とのめ  
ぐり合い、パーティ行動の頼  
もしさや、登山の新たな充実  
感を覚え、さらに同好団体と  
の交流でも、数々の知識や温  
かい思い出に恵まれた。

例えば川内の早出川が、登  
山者には殆ど未知の領域であ  
ると聞き、弟と二人で村松町  
から六日間を費やして今早出  
沢まで遡行し、源流地帯の壮  
大な岸壁群を目にして、新発  
見したように感動したり、飯  
豊川の大日沢、胎内川本流、  
朝日連峰の岩井又沢遡行と初  
めての足跡を印したり、厳冬  
期に鳥海山吹浦口からの初登  
頂、御神楽岳や鬼が面山の岩  
場に挑むなど、当時の登山界  
では盲点のようなポイントを  
探して、探訪に喜びや充実感  
を味わったものであったが、

それも信じ合い頼りになれた  
パートナー達のお陰であった  
と感謝している。

とにかくスポーツは多種多  
様で、ひとそれぞれの指向が  
異なるのは当然だが、健全な  
登山行為により、山という自  
然環境の中で好みの方向や趣  
味を見つけ出し、追求してゆ  
ける奥行き深さや、名山歴  
訪など各地の山々を巡り歩く  
山旅の楽しさを含めて、より  
大勢が、特に若い世代の人々  
が登山の意義を認識、体験し  
て山に親しまれることを期待  
するとともに、山岳協会の意  
義を理解して、その活動に積  
極的な応援をしてほしいと願っ  
ている。

思いつくままに、私ごとを  
混えて登山の功德を書き並べ  
てみたが、今も山への憧れは  
尽きず、あれこれと夢を画い  
てはいるものの、老化現象で  
あろうか七十三歳という年令  
を意識せざるをえないほどの  
体力の、特に足の劣えを自覚  
するようになった。

日常生活から車を放せず、  
仕事に追われてトレーニング  
もままならない現状ではある  
が、なんとか暇を作って山と、  
山仲間同士の付き合いを続け

てゆきたいものと、願ってい  
るこの頃である。

### 自然保護と入山規制に思う

亀田山岳会

本 間 一 人

ある日の新聞に世界遺産に  
登録された白神山地の入山規  
制について一面全部を使って  
載っていた。

世界遺産に登録されてここ  
数年登山者が増え続け秋田県  
側では四年前四千三百人だっ  
たのが昨年は一万人を越えた  
ということだ、このような素  
晴らしい自然に関心をもつこ  
とはいいのだがそのことによ  
って大勢の人が押しかけるの  
いかなものか？

入山は事前に郵送か当日持  
参して許可を得るのだが、観  
光開発という地元利益と自然  
保護との関係は自然保護運動  
の難しさの最たるものといえ  
る。

夏の北岳、甲斐駒ヶ岳に登っ  
てきたがトイレは0157の  
せいか大変きれいで消毒液も  
あり、長衛荘では使用済みト  
イレットペーパーを分別し、  
屎尿処理の効率化を進めてい  
るようだ。

ここで見た光景だが観光業  
者が募集したパーティである、  
年齢も力量も違う人達を40人  
も引き連れ先頭が下山して最  
終が下山したのが一時間以上  
も過ぎてからで引率者らしき  
人が同行していたとは思えな  
いようである。そして、仙丈  
小屋に向かうパーティは50人  
位、大挙して山小屋に泊まる  
と個人山行者がはじきだされ  
宿泊できない状況が出ている。

自然保護の観点から尾瀬の  
ようにツアーを組んで入山す  
る者は特に個人も相対的に規  
制しなければ自然は守れない  
ところまでできている。

事前に届出、現在の半数以  
下にして、その代わり入山を  
許可されたものは自然保護基  
金(入山料)を払うべきでは  
ないだろうか。





### 中国・曲阿加吉瑪峰 第二峰 登頂成功

新潟県山岳協会創立50周年記念事業として計画しました日本・中国合同曲阿加吉瑪峰登山は、中国においても人跡未踏の空白地帯というなかで、受入れ体制、悪天候という状況等の問題で登山活動も制約をうけ、初期の目的であった本峰は登頂できなかつたが、未踏の第二峰（五八九〇米）の登頂に成功しました。おめでとうございます。

これは隊員一同の努力の賜ものであります。

本当にごくろうさまでした。

### 笹川スポーツ財団ニュースから

坂井 厚

六月中旬事務局より、笹川スポーツ財団からの情報紙「スポーツ・フォア・オールニュース」97年5月号を受けた。協会がネットワーク会員に加入したことで配布されました。文中SSFスポーツエイドの今年度の交付団体決定が記載されています。

中高年登山委員会が「登山教室」で過去2年間交付を受け、今年度も交付決定を受けたので全国的にどうなのか、登山・スキー他に通つたものを拾い挙げてみました。

北海道・美幌スキー連盟、北海道クロスカントリーレース実行委員会、岩手・東北チエアスキークラブ、日本スキーオリエンテーリング研究会、

秋田・合川町歩こう会、秋田県オリエンテーリング協会、田沢湖ウォーキング実行委員会、埼玉・日本フリークライミング協会、東京(株)日本歩け歩け協会、(株)日本ケラススキー協会、新潟・トリットボール協会、中条町体育協会、新潟県インディアカ協会、新潟県

山岳協会、新潟県なぎなた連盟、新潟県フエンシング協会、羽茂町ミニバスケットクラブ、安塚町体育協会、安塚町スキークラブ（本県は以上九団体）

富山・富山県マウンテンバイク協会、三重・三重県歩け歩け協会、愛媛・いじつ登山マラソン大会実行委員会、長崎・佐世保山歩会等また、トライアスロンやハンンググライダーなどの団体の名がありました。

今年度の募集・交付状況では、申請九一九団体一〇二六件、決定は五百団体、五百事業に対して約三億円の交付決定となっております。

年度	申請件数	交付件数	額(億)
'91	162	88	0.65
'92	838	473	3.5
'93	932	536	4.2
'94	878	637	4
'95	870	625	4
'96	1,136	484	3
'97	1,026	500	3

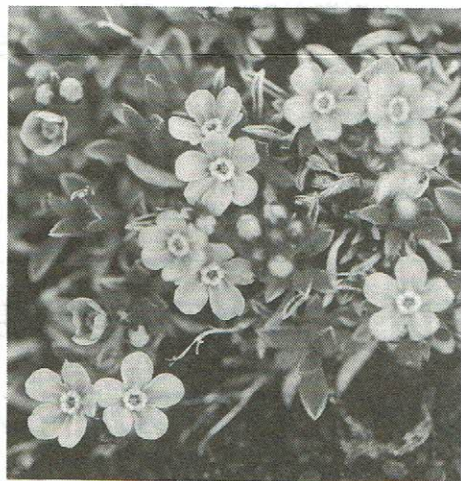
以上のような記載でした。

## カムチャッカの高山植物 ④

むささび会 加藤 明文

### ミオソティス・アルペストリス (ムラサキ科)

分布：北太平洋（日本に無い）



花は北海道のエゾリムラサキにそっくりですが、葉はずっと広い。住み家も日本では蛇紋岩の岩場に集中するが、ここでは火山の礫地に生きている。

日本産と同じ名前の種はカムチャッカにも低山帯に背が高くなって生育しているので、やはり別種と言う事になる。花そのものは「ワスレナ草」を思い起すだろうと察するが、そのとおりで、この種の高山型または寒地種と思われるし、名前のミオサティスとはワスレナ草のこと。ムラサキとは紫と書き、正色にあらず、人を惑わすなり。花の色：青紫

平成9年8月4日～8日の日程で開催された高校インターハイ登山大会団体男子の部で日頃の練習の成果をいかんなく発揮し、三条東高校が2位に入賞しました。

おめでとうございます。

### “大健闘” 三条工業高校 第41回高校総体 登山大会 2位入賞



# テーピング実技講習会に参加して①

悠峰山の会

佐々木 敏 郎

平成9年7月13日万代市民会館において、新潟県山岳協会遭難対策委員会主催によるテーピング実技講習会が行われた。参加者は役員3名、各山岳会から45名、講師1名、アシスタント1名の計50名でした。講師はソニー企業(株)ストレッチ営業部の伊藤氏、アシスタントは同じく佐藤氏でした。

内容は、午前中は足首、午後は膝について行なわれました。最初はテーピングについての目的、効果、注意事項等の説明があり、以下各項目について端的に説明をします。

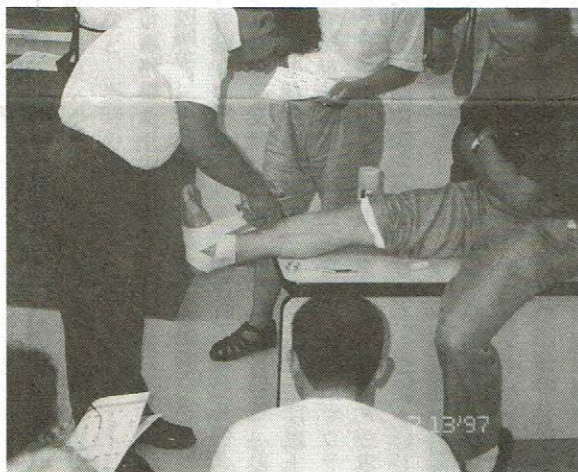
**テーピング**  
テーピングとは、ケガの予防・応急処置・再発予防を目的とし、関節や筋肉を固定・圧迫するように医療・スポーツ用のテープを身体の一部に巻く方法のことである。

一、テーピングの目的  
(1) **予防**：ケガを未然に防ぐことを目的としたテーピング。コンディショニングだけでは

(2) **応急処置**：ケガをした部位の安静固定・圧迫を目的としたテーピング。ICE処置と併用して行ないます。この目的のテーピングでは、患部全体を包み込むようにしてしまふと過度の圧力が加わってしまう、一部にテープを貼らな

十分なケガの予防ができない部位、例えば足首、手首、指などで使います。

(3) **再発予防**：今ケガをしているか、以前ケガをしていた人が、同じケガを防止する目的としたテーピング。ケガをした人は応急処置→治療→リハビリテーション→運動復帰という過程を踏む必要があります。しかし、運動復帰時にケガした部分が本来の強さまで戻っていない場合が多く、この時期にケガの再発が良く起こります。ですからテーピングでその部位を補強しておくわけです。(以下次号)



平成9年度10・11月専門委員会行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
9.10.1	新潟県遭難対策競技会	新潟県庁	遭難対策
9.10.18~19	50周年記念山行「蒜場山」	新発田市	50周年記念事業
9.10.25~26	第25回自然保護指導員研修会	栃尾市	自然保護
9.10	第52回大阪国体結団式	新潟県庁	国体
9.11	理事会		総務
9.11.8~9	登山技術講習会(岩登り)	新発田市杉滝岩	指導技術
9.11	北信越5県連絡協議会	福井市	国体
9.11	第52回大阪国体反省会	新潟市	国体
9.11.30	指導員研修会	新潟市	指導技術

日山協・文部省登山研修所等10・11月行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
9.10.18~19	全国自然保護委員会総会	青森県	日山協
9.10.24~29	第52回大阪国体	大阪府	日山協
9.11	第11回東北地区海外登山研修会	秋田市	日山協

## 登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

## 大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

## 登山・アウトドアの専門店



## 新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)